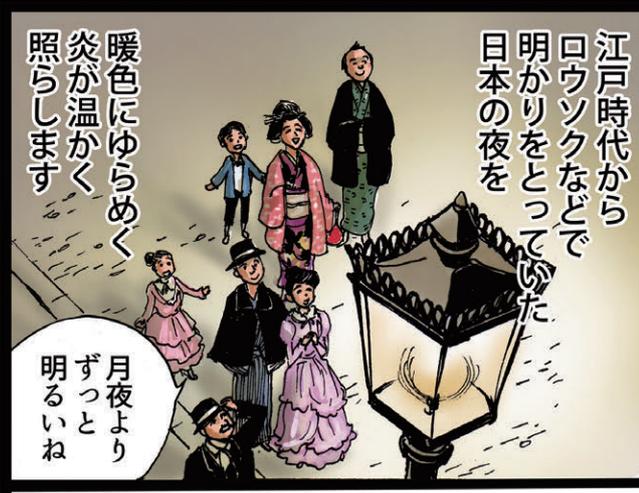
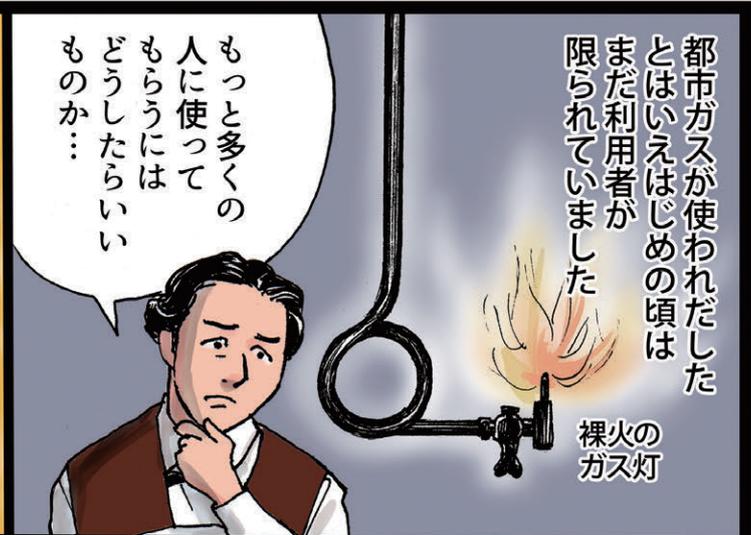


渋沢栄一と学ぶ！ 都市ガスの歴史





大正15年
震災復興で青山などに
建てられた
同潤会アパート



今のマンションに通じる
集合住宅の元祖といえる
建物で

最初から
揃ってるなんて
嬉しいわ

各台所に
ガスかまど、ガスコンロが
備えつけられました



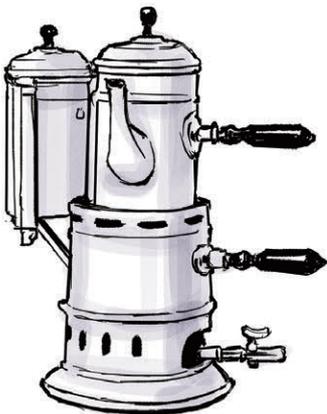
これが震災復興の中
都会の生活の
標準スタイルとなって
いきました

オシャレな
ガスストーブも
登場

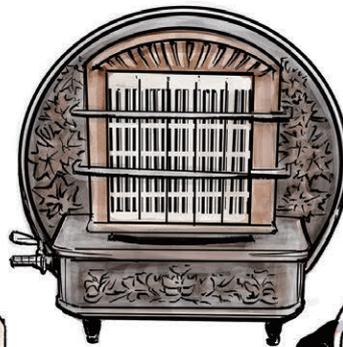
同潤会にも
装備!

昭和に入ると
洋風でモダンな
暮らしが広まり

ガスを使う調理器具も
生まれました

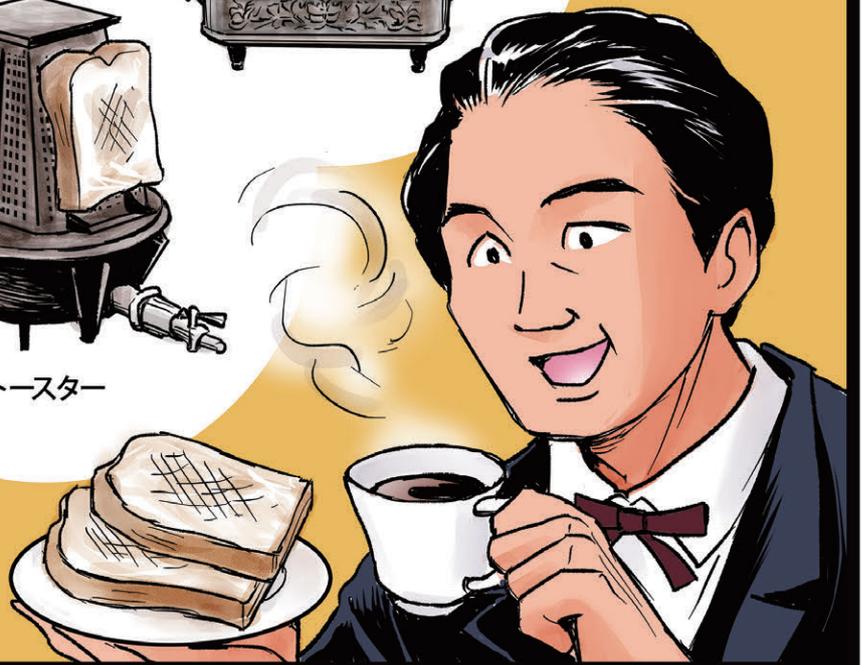


コーヒー沸器



トースター

都市ガスのお陰で
どんどん
生活が便利に
なっていくな



戦後には団地が増え
湯沸し器や
バランス釜風呂も
各住戸に備えつけられ
ました



ハンドシャワーも登場

内風呂があたり前となり
銭湯通いの暮らしから
一般家庭が自宅で
お風呂に入れるよう
なっていました

都市ガスの発展は
利用器具の開発
だけじゃないぞ



原料や効率の良い
使い方も進化
しているんだ

それまで日本の
都市ガスの原料は石炭や
海外から輸入した石油が
使われていました



しかし安定した
原料の確保が
むずかしく

硫黄や窒素などの
大気汚染物質や
二酸化炭素(CO₂)の排出
などが課題でした

昭和40年代
都市ガスの原料が
天然ガスへと大きく
切り替わります



地中に眠る天然ガスを
液化して運びやすくし
大量輸入が可能になった
のです

液化天然ガスを運ぶLNGタンカー

天然ガスは
石油や石炭に比べて
大気汚染物質や
CO₂排出量が大幅に
少ないエネルギーなんだ

いろんな地域で
採れるから
安定して輸入できる！

今世界的にも天然ガスの
利用に切り替えが進んで
いるんだよ

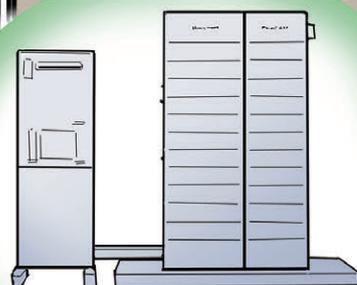
地球



2009年から
都市ガスを使って
お家で電気を作り
その時に出る熱で無駄なく
お湯を貯められる
エネファームも登場しました

急な停電でも
スマホが充電
できる！

お湯が使えるから
お風呂にも困らない
わね





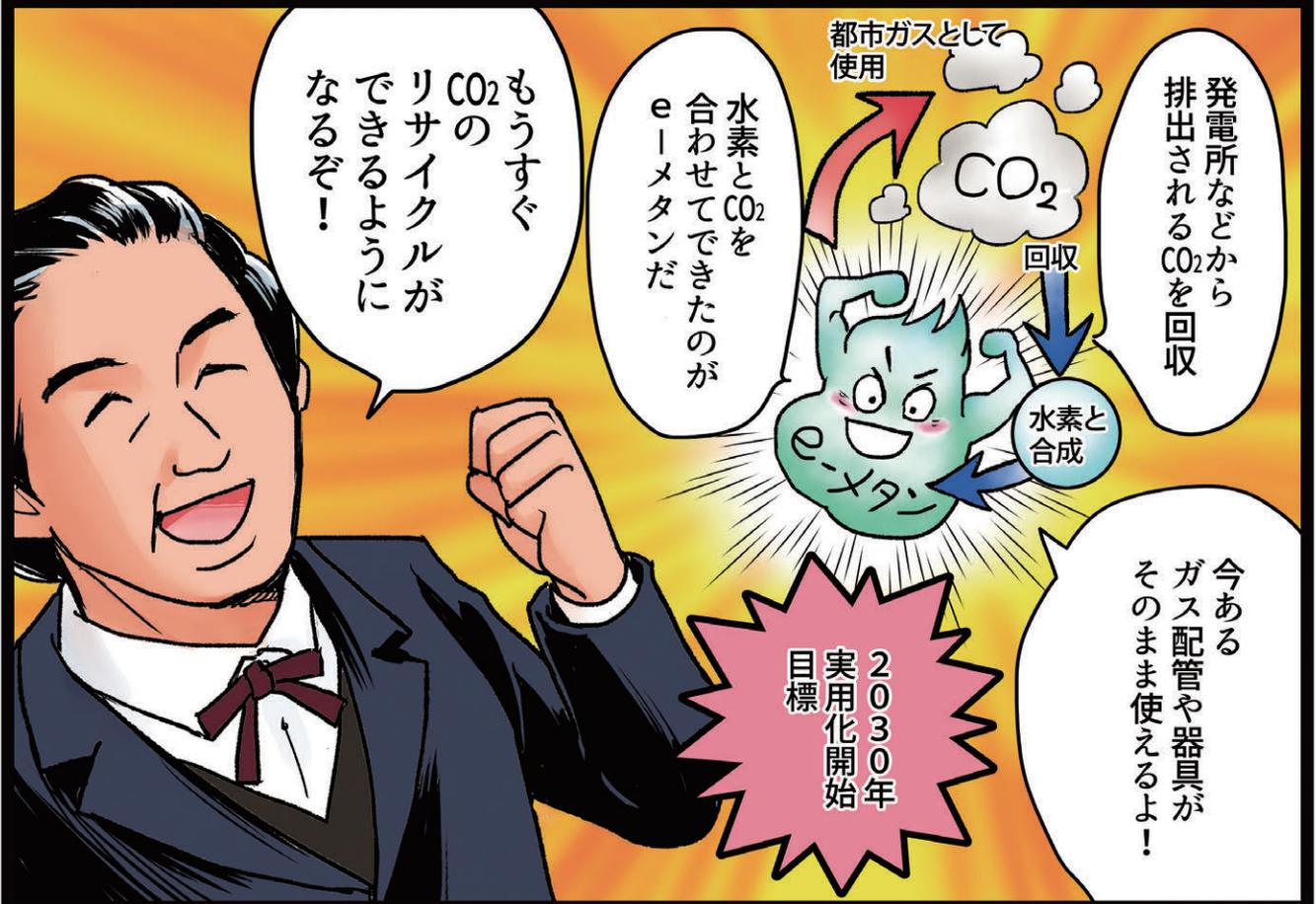
環境問題が深刻な
現代では大きな課題
となる訳だが：

とはいえいくら
クリーンな
天然ガスでも
メタンを主成分とする
化石燃料なので
燃やすと
CO₂は出てしまう



その名も
e-メタン

なんとCO₂から
都市ガスを作る
取り組みも
はじまって
いるんだ！



もうすぐ
CO₂の
リサイクルが
できるように
なるぞ！

水素とCO₂を
合わせてできたのが
e-メタンだ

都市ガスとして
使用

発電所などから
排出されるCO₂を回収

回収

水素と
合成

2030年
実用化開始
目標

今ある
ガス配管や器具が
そのまま使えるよ！